



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第169号
平成28年3月15日発行
発行所…(有)明寿会
住所…川崎区中島1-13-3
電話044-2333-0061
*定例会は最終土曜日です。
(今月は3月26日)です。

第170回 介護体験を聞く会

デイサービス利用で ADL(日常生活動作)が 向上した事例

平成28年2月27日(土)
ダイケア室にて開催

「議題」
Kさんの事例検討・家族
相談

参加者
職員…院長 柳田CM
柏倉CM 木原 前田
漆原 厚川 谷 工藤
家族…柳澤さん 小幡
さん 藤田さん 野々目
さん
関係者…多田さん

「Kさんの事例検討」
氏名…Kさん女性(84)

歳) 生年月日 昭和6年
3月29日

介護度 要介護4
週4回利用 利用開始日

平成27年9月10日柳
田デイサービス利用開始

出身地 栃木県
趣味 民謡

性格 活動的、朗らか
主介護者 長男(嫁)

「既往歴」

平成18年腰部脊椎管
狭窄症、脊椎管固定術施
行、アルツハイマー型認
知症

平成27年5月 腰痛、
歩行困難になり、糖尿病、
腰痛症、糖尿病性末梢神
経障害にて、入院

平成27年7月第1腰
椎圧迫骨折(ベットサイ
ドにて、しゃがむように
尻餅転倒)

平成27年9月退院

「内服薬」

「生い立ち」
1男6女の次女として、
昭和6年3月に生まれる。
実家は栃木で製麺所を行っ
ていた。4年前(平成2
3年)夫死亡。その後独
居。ご本人は保険の外交
などを行っていた。また、

裁縫を行い、三味線・民
謡免許をお持ちで、社交
ダンスなど行っていた。
すぐ下の妹さんが小田に
在住。

主なADL(デイサー
ビスでの様子)

会話…他の利用者さん
とも冗談を交えながら会
話を楽しんでおられます。
理解力…基本会話は理解
脳トレでは、ひらがな、
漢字の書き取りを行って
おります。

歩行…基本は車椅子にて
の対応を取っています。が、
室内での手引き歩行、ト
イレにての立位保持を行っ
ております。

食事…デイサービスでの
昼食は、ほぼ全量ご自身
で摂取されています。
排泄…ご自分から尿意を
訴えることは少ないので、
定時に声掛けを行ってお
ります。トイレ時は、ご
自分で手すりにつかまっ
て、立位保持をしてもら
いながら、スタッフがあ
たりながら、着脱を行って
おります。

入浴…シャワー浴にての
対応をとっています。上
着の着脱は、スタッフが

行っております。
送迎…玄関先までご家族
が車椅子にて送り出して
頂いて、リフト席に乗っ
ていただいています。帰
りは、金曜日のみご自宅
のベッドまでお送りして
います。

「家庭での様子」
家にいるときは横になっ
て寝ている事が多い。テ
レビがついていても見て
いるのかどうかといった
状態です。また、気づい
たときに家の中の棚など
に這っていき「片付け」
のようなことをしている。
「デイサービスの様子」
デイサービスにておこ
なっている小学生の交流
会では、じゃんけんと同
じゲームを出し続けて負
けるようにしていらっし
やりました。小学生への優
しさを示している行為と、
思われます。また、馴染
みの利用者さんに「私達
まだおばあちゃん始まっ
たばかりだから、頑張る
ね。」と、集団の中で良
い刺激を受け、与えてく
ださっています。

「現在の主な問題点とその経緯」

平成27年入院時転倒、腰部脊椎圧迫骨折、退院後、デイサービスに来られるようになる。当初、車への乗り降りや、車がカーブしたりなど少しの揺れにて、足が痛いと言われ返しておられました。デイサービス内でも、痛い、痛みをくりかえしておられました。

当初から、自らのリズムにて、立つようにお話しをして、トイレ時や、車椅子に移乗するときに行ってもらった所、痛みに関する反応は、多少少なくなってきた。

ショートステイあけから、車内、室内における、痛い痛いと言う声はきかれなくなってきた。ショートステイにおいて、健康維持、食生活への対応が、身体維持に繋がっている、思われます。

独居生活故、生活全般にての健康維持が、不安定なことがあり、糖尿、腰痛、糖尿病性末梢神経障害をお持ちの利用者さんにとって、環境が痛みを助長する事になって

いると考えられます。「今後に向けて」

上記の独居環境からくる課題の事を解決するために生活面にてのサポート体制（ショートステイ、デイサービス）において健康の維持を行い、脊椎圧迫骨折等による身体の変調に注意し、対応していく事で、独居生活から派生する問題の対応をとっていければよいと思っております。

検討会議事録



柳田CM まだ6か月目のご利用ですね。入院中の圧迫骨折により、認知症が進みました。

朝もお嫁さんが送り出しをしています。独居で夜一人なので、トイレに尿や便が散らかっていたりしましたね。

木原..ショートに一週間行つたことで、3食とつてきちんと座ることが出来るようになった。

保険の外交をしていた方なので、小学生が来てもコミュニケーションがきちんを取れます。

柳田CM..困っている事は？

木原..本人が良かれと思つてやっている事が、ほかの人にはお節介に感じて迷惑に思われる事がある。世話好きな方です。みんなと喋っているのが楽しいと一日ニコニコされている。

柳田CM..認知症で、計算やドリルは厳しいから楽しんでやってもらえれば？

木原..音読をやつてもらっています。ショートに行くことによつて、1〜2か月で驚くくらいみるみる変わった。ベッドまで送つても、お家も綺麗。8畳の部屋の所々に、伝い歩きができるようにイスが置いてある。車椅子が要らないくらい伝い歩きの出来る。

柳田CM 以前は、リハパンや尿や便が凄くらい汚かったが？

院長..変わった要因が他にも何かしらあったはずだが？

木原..やはり利用者とのコミュニケーションを作ることで、変わつていったのでは。最初は、一色

で塗つていた塗り絵が、最近は多色を使うようになった。

院長..頭が変わらなきや心が変わらないですからね。表情はどんな風に変つた？

木原..別人ですよ！痛くて歩けないヨタヨタの人が、この前は手すりにつかまつてスクワットを20回したのは、びっくりしました。

前田（リハ担当）..昨日は、歩行器を初めて使つたんですけど、方向転換もスイスイ出来て、ピックアップみたいに持ち上げたりしています。

木原..なごみより、柳田に行つているほうが本人は楽しいと、お嫁さんに聞きました。

院長..びっくりがいっつも重なつていますね。木原..本当に奇跡ですよ！

柳田CM..ショートに行つてくれたお陰で、生活のリズムが出来たんですね。家族とデイと上手く連携ができれば良い方向に繋がる

院長..医学的には、前頭葉の回復はしないのに、

定説が崩れていつちやうね。普通だったら悪化するのに。

柳田CM ながみとの情報交換をすることで、良い方向に持つていけるように。ケアマネも迅速にショートをやってくれたから、良かったですね。認知症で連携が取れて、とても良い例です。

家族相談

柳田CM 小幡さんのもDSに行かれてたんですよね。

小幡さん..10年はいかないけど、送り出して会社に行き、帰りは自分で鍵をあけて、家に入っていました。大体9時頃来るので、1時間出社を遅らせてもらっていた。前はごみを捨てていてくれたが、そのうち曜日もわからなくなつたので。認知が進んではいったけど近くの公園に散歩に行つても家には必ず5時位に帰つてきていた。最後のほうは暗くなるまで帰つて来なかつた。時間の感覚がわからなくなつた。

柳田CM..藤田さんの問題点は出てきてますか？

藤田さん..平然とこなし
ていた事が忘れていつて、
今までこなししていた事が
出来なくなっている。私
に頼りきっている。

野々目さん..うちなんか
洗濯機回しても手拭い2
枚とかだけなんですよ。

院長..判断が出来なくな
るから、内容を間違っ
たり、押すのを間違っ
たり、自分は間違っ
てないわけよ。我々から見た
ら間違ってるんだけど。
でも、そこを上手に引き
取って、じゃあこうしま
しようと言うそうゆうの
が施設の役割だから。

藤田さん..靴下が片っぱ
無くなっちゃたって言っ
て、そしたら脱水層の隙
間に巻き付いてたりして。
柳田CM..じゃあ半年ぐ
らいの間に大分進みまし
たね。私が行った時は、
洗濯も自分でやって、お
掃除も2階の階段とか、
1階の廊下とか綺麗だっ
たじゃないですか。

藤田さん..やってるよ。
だけど、夜中の2時にやっ
たり4時にやったりする
もんだから、こっちは寝
てるとたまないんです
よ。

院長..そろそろそうゆう
段階の方に移って、とり
あえずデイケアの方に来
てもらおうかな。

野々目さん..私も限界が
来て、自分の方がダメに
なっちゃうの

柳田CM..限界が来たら
有料老人ホームの方に入
れてもらったら。

小幡さん..介護施設つて
思うとうちの母だつて気
構えちゃうから同じよう
な友達がいるから行って
みたらつて言うのと、良い
と思うんですよね、家族
の方も。

野々目さん..そうそう。
そして行っちゃえばね。
外で迎えに来るのを待つ
てるもんですね。私はお
手伝いに行ってるのに、
給料くれないっていうん
ですよ。

柳澤さん..うちもそう。
やっぱり仕事に来てると
思ってる。

野々目さん..なに言っ
んだよって思いながら。
院長..まあそのうち日本
でも家庭で介護している
人に介護料が出るように
なると思います。ドイツ
ではもうなってるから。
同じ仕事してるわけだか

ら、見てる人は見てるわ
けですからね。

楽しかった 大正琴の演奏会



二月初、デイサービ
ス室にて大正琴のボラン
ティアさんによる演奏会
が開催されました。今年
初めて大正琴の先生方四
名による息の合った素晴
らしい演奏でした。

一曲目は【たきび】で
す。“垣根の垣根の曲が
り角”と皆さんの大きな
声で歌い始めました。歌っ
た後「懐かしいね。昔は
たき火をしながら焼き芋
を作って食べたね。」と
楽しそうに話されていま
した。【かあさんのうた】
は皆さんが心の中にとて
も響いた曲で「私の母も
夜遅くまで色々な仕事を
やっていたよ。お母さん
は本当にありがたよね。」
と、しみじみと話をされ
た女性の利用者さん。後
半は歌謡曲を弾いて頂き
ました。手拍子をしなが
ら歌っている方、目を瞑
り懐かしそうに曲を聴い
ている方等、皆さん楽し

んでいました。【好きに
なった人】の演奏が終わ
ると「やっぱり主人です。」
と元気に答えて下さった
女性の方、また男性の方
は「初恋の彼女かな。」
と、皆さんそれぞれに若
い頃を思い出し、生き生
きと話をされていました。
「アンコール！アンコー
ル！」と、皆さんから手
拍子があり、二曲を弾い
て頂きました。楽しい時
間はあつという間に過ぎ、
皆さんが「もう終わってし
まうの？」「楽しかった
ね。」と感想を述べられ
ていました。皆さん大き
な声で「また大正琴お願
いします。待っています。」
と、先生方を拍手しなが
ら見送っていました。

デイサービス
高橋 慶子

「心に残る一言・選」
山形出身の男性Sさん
がりハビリで平行棒へ向
かって歩いている時にフ
ロアを見渡してつぶやか
れた言葉は：「おらあ、
ここに来ると、何だか
『生きてる』って感じが
するんだよな」「いつも
家にいるとうちのババア
の顔ばかり見なくちゃな
んねえし、後はテレビと
にらめっこしてるだけだ
からな。」

後半のくだりはSさん
の一流のジョークですが、
妻と二人暮らしのSさん
にとつて我がデイケアが
その様な雰囲気の場合に
なっていたとは思ってもし
ませんでしたので、その
言葉はとても嬉しく感じ
られました。この雰囲気
はスタッフのみならず、
他の利用者さん方の持つ
雰囲気もSさんにそう感
じさせたのだと思います。
いつもデイケアのスタッ
フを手伝ってくれる女性
Nさんがスタッフに放つ
た一言は：「(スタッフ
が入れ替わってしまった
けど)一緒に頑張ってい
こうね。」

いつもスタッフの事を良きお母さんの様に見守ってくれ、時には叱咤激励もして下さる女性のNさんが私たちに贈ってくれた最高の言葉です。「この時はこうすれば良いよ」と教えて下さるのもNさんです。これも我がケアの事を考えてくれてるからこそだと思います。

この言葉以外にも、全ての利用者さんから沢山の心に残る一言をいただいています。私たちはただケアを提供する側ではなく、ケアを受けている方からの言葉や行動で多々励まされ、実は私たちの心がケアしていただいている部分も多々あるのだと思います。誰にとつても「来てよかった」と思ってもらえるケアにしていきたいと改めて思った嬉しい、そして心に残る一言を今回2つほど紹介させてもらいました。

(文責・柳田ダイケア)

杉山)

新人紹介
皆様こんにちは、今回

新人紹介という機会を得て書かせていただきます。昨年12月からグループホーム職員の村上なつきと申します。なぜ介護という道を目指し今現在も仕事をしているかと言いますと中学生の時に地域でのボランティアに参加させていただいたり、ご近所にお年寄りがあったのでお話しをしていこうなりました。純粋に好きだなと思ったり、人の役に立ちたいと強い気持ちから介護という仕事に就こうと決心をし、高校、専門学校と福祉の分野に携わり多くの事を学んできました。もちろん知識だけでなく直接お年寄りの方々と触れ合ってからでなくては知ることの出来ない事、人生の先輩として教えて下さる事、色々な方と出会い知ることができ、今の私がいるのではないかと思えます。グループホーム旭町に来る前にも他のグループホームに勤めていました。そこでは要介護度が軽い方から重い方までやはりいろいろな方がいましたが、皆様1日1日を大切に楽し

く笑顔が溢れる日もあれば、時にはご利用者様同士でぶつかり合いになることがあり、刺激のある毎日を過ごされてきました。また、職員同士ではご利用者様を第一に考え意見交換(情報収集)やチームの連携を大切にケアプランに沿って充実した毎日を送って欲しいと願って行ってきました。

今現在グループホーム旭町の職員として働かせていただいております。まわりの先輩方に助けていただきながら色々なことを教えていただきながらも、笑いありとても充実したお仕事をさせてもらっています。1日でも早く立派に務められるよう頑張り、ご利用者様を第一に考え寄り添った介護、ご家族様との繋がりを大切に頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

グループホーム旭町
村上



川崎マリエンに

ドライブに行く

今回は川崎マリエンへドライブに行くことができました。職員、ご利用者様の中でも行ったことがある方も初めてだよと仰る方もおりました。私も川崎マリエンに行くのが初めてでわくわくしてきまして。が、ドライブという役割もあり緊張しました。あいにくの天気でしたが、支度をしている時からまだかまだかと待ち遠しい方や上着を羽織る時になかにはご利用者様が他のご利用者様に対して「ほらちゃんと着て、行くんでしょ」と声を掛けて下さったり

助け合いの姿を見てとても微笑ましかったです。車内へと乗り込み川崎マリエンへと出発する道中、辺りの風景をお話しをしながら堪能したり歌を唄ったりととても賑やかな車内でした。あつという間に川崎マリエンへと着き車内から降りた時、海側でもあったため外の風が強く寒く「あーこりや寒い、早く中へ入ろう」と仰り急ぐ方もおりました。

た。入口を入ってすぐに大きなサメが飾ってある場所で集合写真を撮る「はい、チーズ」と撮ると同時に1人のご利用者様が「はい、チーズ」と仰り、笑いありのスタートとなりました。皆様で展示を見ながら10階の展望台までたどり着き、東西南北あらゆるところからゆっくりと眺め、目に映るものみな美しく見え感動していました。遠くのマリンタワーや東京タワーまで見え興奮されたり、「天気ももっと良ければ富士山もいい眺めで見れたのにねえ」と少しがっかりもされましたが、皆「良かったねえ」「今度またどこか皆でドライブ行きたいねえ」と仰り楽しんでいただけの様子でも嬉しかったです。次のドライブもグループホームにとっていい思い出の1つとして作っていかれたらと思います、今から待ち遠しい限りです。

グループホーム旭町
村上